

団体概要書

(その1)

団体名	公益社団法人 浪曲親友協会	団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input checked="" type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> NPO法人 (<input type="checkbox"/> 認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) きょうやまこうしわか 会長 京山幸枝若		
主たる事務所の所在地	大阪市中央区内本町一丁目1番10号 五苑第2ビル302号室		
設立年月	1896年4月	構成員数	43名
事業年度	4月1日 から 3月31日		
団体の活動目的	浪曲講演活動を通じて、日本の伝統芸術文化「浪曲」を保存・継承し、さらに普及する活動によりわが国の伝統文化発展に寄与することを目的とするとともに、その目的を達成するため次の事業を行う ・日本の伝統芸能文化「浪曲」の保存・継承する事業 ・福祉施設への慰問事業 ・浪曲に関する調査研究 ・後継者の育成事業 ・公的機関等が実施する事業に協力して浪曲の普及啓発を図る事業		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 14 浪曲		
主な活動内容	1.一心寺門前浪曲寄席：毎月3日間、年間36日公演 2.初夢で「見たよ、聞いたよ」浪花節：毎年1月4日 3.浪曲まつり：毎年8月30日 4.築港高野山みなと浪曲寄席：年6回 5.住吉大社浪曲寄席：年2回 6.関西浪曲特選会 他、共催事業：国立文楽劇場にて浪曲名人会、浪曲錬声会・NHK東西浪曲大会、等		
これまでの主な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 令和2年、3年度は、新型コロナウイルス感染症により、従前活動の福祉活動、大阪地域住民を対象にした大人数の交流公演活動は全て中止となった。しかし、協会主催公演である一心寺門前浪曲寄席・初夢で「見たよ、聞いたよ」浪花節・関西浪曲特選会は、これまで観客の入場制限をおこないながらも継続実施した。特に一心寺門前浪曲寄席は毎月3日の定期公演であり、令和6年7月に開設30周年を迎えた。又、若手浪曲師の出演数を増加させてOJTで後継者育成に努めた。		
ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> (URL http://www.rokyokushinyu.org/) / 無		
機関紙	有 (機関紙名) / <input checked="" type="checkbox"/> 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

貴団体における現在の課題	<ol style="list-style-type: none">1. 未来につながる浪曲にする2. 後継者の育成（技芸の向上）3. 若いファンの獲得4. 観客数の減少（新型コロナウイルス感染症の影響や高齢化等による）
貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)	<ul style="list-style-type: none">・日本の伝統芸術文化「浪曲」を保存・継承し、さらに普及する 未来につながる浪曲にするためには、若い世代の観客数を増加させることが重要で、そのためには中堅・若手浪曲師の技芸が向上して新しい顧客を呼び込むことが必要である。技芸を向上させるためには不断の修練と口演回数の増加が必要であり、定席公演を増加させて、積極的に中堅、若手浪曲師を起用することにより、その技芸が向上し、円滑な世代交代を将来的に実施して日本の伝統芸術文化「浪曲」を保存・継承し、さらに普及する。・低廉な料金の入場料設定 観客の自己負担が少なく、満足度の高い公演を実施して観客数の増加を図る・社会貢献 福祉施設への慰問等の奉仕活動の継続
市民等寄附者に対するPR	<p>浪曲（浪花節）のルーツを遡れば800年も昔に遡ります。港区の築港高野山釈迦院には、浪曲のルーツ藤原澄憲（ちょうけん）碑があります。</p> <p>平安時代、社会教化を目的とした祭文（さいもん）・長歌連（現在の浪曲）を世に広めた、浪曲の元祖「藤原澄憲（1126年～1203年）」碑を、大正6年関西浪曲界の元締二代目広沢寅吉が建立しました。（戦後、当団体が再建）</p> <p>浪曲の演題は庶民的な義理人情を訴える作品の他、武芸物、出世物、大阪で人気のケレン物と呼ばれるお笑いなど多種多様です。親子の愛、師への尊敬、忠義、礼節など次世代に伝えたい「誇るべき日本」の姿を三味線との掛け合いで、声の迫力、節、啖呵で表現します。2024年に重要無形文化財に指定された我が国を代表する伝統文化で、幅広く浪曲を聞いたことのある世代だけでなく、浪曲を知らない世代の方々に大阪の芸能文化浪曲を見聞きしていただきたいと思っています。</p> <p>是非、大阪の誇れる文化として今後とも「浪曲」（浪花節）をご支援いただきたくよろしくお願い申し上げます。</p>